



平成22年10月6日

各位

上場会社名 株式会社トーセ
 代表者 代表取締役社長 齋藤 茂
 (コード番号 4728)
 問合せ先責任者 取締役経営管理本部長 渡辺 康人
 (TEL 075-342-2525)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年7月2日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成22年8月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年9月1日～平成22年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,074	87	102	6	0.88
今回発表予想(B)	4,487	180	180	57	7.76
増減額(B-A)	△587	92	78	51	
増減率(%)	△11.6	105.4	76.6	784.0	
(ご参考)前期実績 (平成21年8月期)	6,098	468	452	99	13.19

平成22年8月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年9月1日～平成22年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,538	103	138	19	2.66
今回発表予想(B)	3,982	192	217	71	9.65
増減額(B-A)	△556	89	78	51	
増減率(%)	△12.3	86.6	57.0	262.2	
(ご参考)前期実績 (平成21年8月期)	5,539	554	586	62	8.31

修正の理由

ゲームソフト開発事業におきまして、プレイステーション3向け大型案件の試作品の完了が、開発スケジュールの変動により来期以降になる見込みです。また、その他事業におきまして、パチンコ・パチスロ関連の大型案件に関して開発スケジュールの変動が発生し、完了が来期以降になることから、開発売上は前回予想を下回る見込みです。

一方で、ロイヤリティ売上につきましては、ゲームソフト開発事業におきまして、当期に開発完了したニンテンドーDS向け大型タイトルにおいて、想定以上に販売本数を伸ばすことができたことにより、前回予想を上回る見込みです。また、その他事業におきまして、Wii向けカラオケ配信事業が堅調に推移したことに加えて、来期以降に発生する見込みであったパチンコ・パチスロ関連のロイヤリティ売上进行を当期において計上することができたことから、前回予想を上回る見込みです。

全体的には、第4四半期において、利益に直結するロイヤリティ売上が想定以上に好調であったほか、完了したプロジェクトにおける開発原価の抑制に努め、間接経費の削減にも積極的に取り組んだことにより、収益力の向上を図りました。これらの結果、売上高は前回予想を下回る見込みですが、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回予想を上回る見込みです。

※なお、本資料に記述されている予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、リスクおよび不確実性を包含しております。実際の業績は、今後様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以上